



## 植村直己顕彰事業「2011 日本冒険フォーラム」開催

～植村直己の精神を未来につなぐ～

冒険者のチャレンジ精神を讃え、日本の「冒険文化」を考える機会をつくるため、全国のチャレンジャーが一堂に集うフォーラムを次のとおり開催し、参加者を募集する。

### 2011 日本冒険フォーラム

#### 1. 趣旨

国民栄誉賞を受賞した世界の冒険家・植村直己の精神を後世に継承しようと平成6年に植村直己冒険館を整備し、平成8年に「植村直己冒険賞」を創設した。

これまで、山・海・川・空・極地等を舞台にした冒険者や、その冒険に関わった方、そして全国各地の多くの植村直己ファンに支えられて、植村直己顕彰活動を進めると共にチャレンジャーの応援を続けている。

これらの活動のステップアップとして、フォーラムを開催する。

#### 2. フォーラム

##### (1) 日 時

5月15日(日) 13:15～17:00 (12:00 受付開始)

##### (2) 場 所

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール  
(東京都千代田区神田駿河台 1-1)

##### (3) 内 容

###### 【テーマ】

「冒険の伝説・未来」～こんな日本人がいた そして 今もいる～

###### 【コーディネーター】

江本 <sup>よしのぶ</sup> 嘉伸 氏

1940年神奈川県生まれのジャーナリスト。旅や冒険好きたちのネットワーク「地平線会議」の代表世話人。

###### 豊岡市紹介

「コウノトリ悠然と舞うふるさと」

植村の生まれ育った町から 中貝 宗治 豊岡市長

###### 基調講演

「我が友 ドングリは生きている」

植村直己を語る 廣江 研 氏

1941年、鳥取県生まれ。明治大学山岳部で植村直己と同期生。大学卒業後も親しく付き合い、植村の素顔をよく知る。植村がマッキンリーで1984年2月に行方不明になったときの第2次捜索隊長。



## パネルディスカッション

### テーマ

「踏み出した者たち」

### パネラー

天野 和明 氏（登山家）

1977年、山梨県生まれ。植村直己にあこがれて明治大学山岳部に入り、数々の困難な大岩壁を登攀。2009年ピオレ・ドール金のピッケル賞受賞など今や世界的なクライマー“垂直の詩人”

永瀬 忠志 氏（冒険家）

1956年 島根県生まれ。大阪産業大学在学中にリヤカーを曳いて日本3200kmを縦断。卒業後、リヤカーを曳いてアフリカ大陸横断 11,000キロなど世界各地を歩き回り、リヤカーを引いた距離は地球1周以上  
2005「植村直己冒険賞」受賞

服部 文祥 氏（サバイバル登山家）

1969年、神奈川県生まれ。東京都立大学ワンダーフォーゲル部出身。1996年に世界第2位K2登頂など複数の登山記録がある。山に対してフェアでありたいと、生身の己を自然にさらし、ひたむきにズルをしない生き方を求めるサバイバル登山家

松原 英俊 氏（鷹匠）

1950年、青森県生まれ。慶応義塾大学卒業後、鷹匠に弟子入り1年足らずで独立。子供の頃から生き物を見たら追いかけて捕まえたくなる習性を持つ。現在、山形県の月山山麓で日々、鷹と雪山で獲物を追う鷹狩りを生業とする日本でただ一人の鷹匠。

## 冒険・チャレンジ提言書の朗読

### （４）参加者募集

定員	1,050人（申込先着順）
参加費	参加費無料（ただし、入場整理券必要）
募集期間	2月16日（水）～4月10日（日）
申込方法	電話、FAX、はがき、E-mail、または植村直己冒険館来館により、下記に申込みする。
申込み先	日本冒険フォーラム運営委員会（植村直己冒険館内） 〒669-5391 豊岡市日高町伊府 785 TEL0796-44-1515 FAX0796-44-1514 Email boukenkan@city.toyooka.lg.jp

### 〔豊岡市からの参加〕

豊岡市からのフォーラム参加者用にバス3台を準備

出発：5月14日（土）午後9時頃、帰着：5月16日（月）午後9時頃

参加費 15,000円程度（朝食2回、昼食2回、15日宿泊料）



### (5) 主催等

主催	豊岡市
共催	明治大学・明治大学創立130周年記念事業実行委員会
後援	(社)日本山岳協会、(社)日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、(社)日本山岳ガイド協会、NPO 法人ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、日本ヒマラヤ協会、NPO 法人日本トレッキング協会、日本アドベンチャーサイクリストクラブ、地平線会議、(株)文藝春秋、(株)山と溪谷社、東京新聞出版部岳人、(株)舵社、(株)スイッチ・パブリッシング、ミズノ(株)、(株)ICI 石井スポーツ、日本用品(株)、(株)好日山荘、(株)モンベル、(株)ヨシダテント、明治大学体育会山岳部・炉辺会 (21団体)
協力	兵庫県、(財)植村記念財団・植村冒険館(東京都板橋区)
運営	冒険フォーラム運営委員会 豊岡運営委員：豊岡市職員、植村直己ファン 東京運営委員：明治大学職員、地平線会議メンバー 冒険館を訪れた東京在住チャレンジャー (財)植村記念財団・植村冒険館 事務局 植村直己冒険館

### 3. 展示

#### 植村直己の足跡と素顔展

植村の足跡やエピソードを紹介

期日 5月9日(月)～15日(日)

場所 明治大学アカデミーコモン 1F ロビー展示場

#### チャレンジャー紹介展

チャレンジャーが冒険の途中で撮影した写真および夢メッセージを紹介

日時 5月15日(日) 11:00～18:00

場所 明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホールロビー

#### 植村のふるさと豊岡市

植村の生まれたふるさと豊岡市の紹介

日時 5月15日(日) 11:00～18:00

場所 明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホールロビー

### 4. 記録集の作成

フォーラム終了後、記録集を作成し、関係者に配布するとともに、希望者に販売



## 5. その他

### (1) フォーラム関連事業の実施

植村直己冒険館特別展「植村直己の精神を伝える ～2011 日本冒険フォーラム～」開催

時期 7月下旬～12月末

場所 植村直己冒険館

フォーラム参加パネラーおよびチャレンジャーを豊岡市に招き子どもたちと夢、生き方などを語り合うナイトミーティングを開催（対象は中学生）

時期 8月上旬

場所 未定

## 参考

### 地平線会議

1979年発足。探検・冒険から登山、旅、さらには民族調査やボランティア活動まで、世界を舞台に活動が続いている行動者たちのネットワーク。会員制を取らず会則もないなど、あくまでも個人の集合体の立場をとっている。活動はすべて有志の手弁当によって行われている。

〔問合せ〕豊岡市教育委員会植村直己冒険館 0796 - 44 - 1515